

トピックス

■【京都】ホテルグランビア京都に「瑞風ラウンジ京都」が完成

5月31日、西日本旅客鉄道株式会社は、6月17日に運行開始の寝台列車『TWILIGHT EXPRESS 瑞風』【運行日：山陰コース上り(月・火) 山陰コース下り(土・日)】の旅において、**乗客の旅の出発を彩るラウンジ、「瑞風ラウンジ京都」**を公開した。「瑞風ラウンジ京都」は、京都駅のホテルグランビア京都内に開設され、「瑞風」の車両インテリアを監修した浦一也氏に、同じく監修を依頼している。

館内は「瑞風」車両に通じる「ノスタルジック・モダン」の調度品や備品を取り揃え、「瑞風」の特別な旅の出発にふさわしい空間となっている。

また京都ならではのドリンクやスイーツの提供もっており、平成28酒造年度全国新酒鑑評会で金賞を受賞した**聚楽第大吟醸エクストラプレミアム(佐々木酒造株式会社)**、**瑞風ラウンジ専用**に仕上げた**玉露(株式会社古畑園)**、**京スイーツのお濃茶ラングドシャ「茶の菓」**と**季節のチョコレート「お干菓子佇弧古礼糖(おひがしちょこれいと)」**をクラシカルな旅行かばんに詰めた四季の瑞風アソート(京都北山マールブランシュ)などの逸品が用意されている。



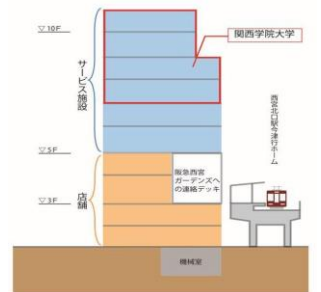
▲瑞風ラウンジ内の様子

■【兵庫・西宮北口】阪急西宮北口がますます住みたい街に！！！！

6月14日、阪急電鉄では2018年秋に阪急西宮北口駅での開業が進められている、「(仮称)西宮北口阪急ビル」に関西学院大学の入居が決定したと発表。新キャンパスには、専門職大学院である司法研究科(ロースクール)などが移転する。同ビルは、西宮北口駅の今津行きホームの東側での開業が進められている駅ビル。教育系を中心としたテナントの誘致を進めてきたところ、関西学院大学の入居が決定したという。

新しい駅ビルは地上10階、地下1階建て。1~4階は飲食や物販、金融機関などの店舗が入居予定。3・4階部分は西宮北口駅と商業施設「阪急西宮ガーデンズ」を結ぶ**連絡通路につながる予定である**。5~10階は教育系を中心としたサービス施設が入居する。そのうち、7~10階には関西学院大学の入居が決定している。新キャンパスの開設は2019年4月予定。

西宮北口エリアは、「みんなが選んだ住みたい街ランキング2017 関西版」(リクルート住まいカンパニー)で1位に選ばれている。西宮北口の1位は5年連続。西宮北口駅では、阪急神戸線と阪急今津線が乗り入れており、**阪急沿線の駅別乗降人員においても3位[99,925人/1日平均(平日)]**と高い位置づけとなっている。また、駅周辺には兵庫県立芸術文化センターや甲南大学西宮キャンパスもあり、文教地区としての魅力がますます高まると思われる。



▲(仮称)西宮北口阪急ビルフロア概要

■「住みたい街(駅)」ランキング (関西全体/3つの圏定圏別)

順位	2017	2016	2015	駅名 (代表的な店舗名)	2017	2016	2015	乗降
1位	1位	1位	1位	西宮北口(阪急神戸線)	478	439	479	
2位	2位	2位	2位	梅田(地下鉄御堂筋線)	437	373	376	
3位	7位	10位	10位	なんば(地下鉄御堂筋線)	263	248	200	
4位	5位	3位	3位	千里中央(北大阪急行)	247	232	338	
5位	9位	6位	6位	夙川(阪急神戸線)	247	252	251	
6位	4位	5位	5位	園本(阪急神戸線)	246	265	263	
7位	3位	4位	4位	神戸三宮(阪急神戸線)	218	277	317	
8位	9位	8位	8位	江坂(地下鉄御堂筋線)	197	187	203	
9位	10位	11位	11位	天王寺(地下鉄御堂筋線)	191	183	179	
10位	11位	9位	9位	御影(阪急神戸線)	138	156	201	

▲5年連続住みたい街ランキング1位

■【大阪】大阪城公園駅前エリア内に「JO-TERRACE OSAKA」がオープン！！

6月22日、大阪城パークマネジメント共同事業体は、**新たな賑わい作りを目指し、大阪城公園駅前に「JO-TERRACE OSAKA」を開業させた**。オープン初日はオープニングセレモニーが行われ、来場者先着1,000名にはオリジナルのコースターが配られ、コースターをもらおうと行列ができた。観光客だけでなく、**近隣のビジネスマンや住民、大阪城ホールの利用者など幅広い来園者にとって利便性がある施設**で、飲食を中心にインフォメーション、物販、ランナーの為の便利施設など全22店舗(『スターボックス』『たこ焼き道楽わなか』)が出店。(営業時間は7:00~24:00※店舗により異なる)

ネーミングのコンセプトは「城=JO」というワードをネーミングに盛り込むことでストレートに大阪城らしさを出し、「TERRACE」という言葉でゆったりとした時間を過ごせるリラックス価値の訴求と、飲食スペースであることのわかりやすさを発信しているところからきている。

ロゴマークは、野外で茶会をする際に用いる「野点傘」をモチーフにデザインされており、大阪城公園の自然を感じながら、人々が集い、くつろぐことのできる施設であることを象徴している。

また、本丸広場では、歴史的建造物である旧第四師団司令部庁舎を改修中。**大阪城天守閣を訪れる多くの観光客を対象にした飲食・物販施設や歴史体験施設「MIRAIZA OSAKA-JO(ミライザ大阪城)」**を2017年秋に開業する予定だ。



■【京都】地下鉄・市バスの乗継割引拡大へ

京都市交通局では京都市営地下鉄と京都市バスの**共通乗車券「トラフィカ京カード」の乗継割引の拡大を検討している**。京都市内の観光客増加により、市バスの混雑が目立っており、市民に不満が高まっていることから市民に人気の高い「トラフィカ京カード」の割引を行い、サービスを充実させる。市内の公共交通機関の混雑などが影響して、京都市内を訪れる日本人の日帰り観光客は減少している。**乗継割引の実施は2018年度以降になる見通しである**。

「トラフィカ京カード」は3,000円(利用額3,300円)と1,000円(利用額1,100円)が販売されており、現在は**バスとバスを乗り継ぐと90円、バスと地下鉄では60円が割引される**。

利用額の1割上乗せと乗り継ぎ割引で市民には「お得な乗車券」として愛用されており、**2015年度には202万枚を売り上げた**。現在は観光客よりも京都市民に人気が高い。

京都を訪れる観光客はリピーターが多く、京都市内外に足を運ぶ観光客も増加。今後は京都市内だけでなく京都府全域へと観光客の分散が進みそうだ。



▲オープニングセレモニーの様子



▲コースターをもらうため行列ができる



▲トラフィカ京カード